

## イベント報告

関西・大阪21世紀協会は、「交流と助成」「伝統と創造」「発掘と発信」の3つを事業の柱としています。ここではそのなかのいくつかをご報告します。

交流と  
助成

### 交流サロン 21café 海外にはばたく大阪の舞台芸術の今

北林佐和子さん(脚本家、演出家)  
伊瑛谷門取さん(打打打団 天鼓 主宰監督)  
5月17日/中之島センタービル



1987年に大阪で創設された和太鼓グループ「打打打団 天鼓」の演出・総指揮を務める北林さんと同団主宰の伊瑛谷さんが、国内外での公演活動を紹介しました。近年、同団は従来の和太鼓演奏に演劇的要素を取り入れ、今年2月の「ロミオとジュリエット(近鉄アート館)」では、有名なバルコニーでの求愛シーンや結婚式などを太鼓で表現。オランダ演劇祭(6月9日～18日)での津波をテーマにした「TSUKUMOGAMI」を砂浜で上演するスペクタクルな演出などが、映像を交えて解説されました。講演後は、打打打団 天鼓メンバーによる演奏も披露されました。



伊瑛谷門取さん(右)と  
北林佐和子さん(左)



演奏を披露した坂上享さんと  
大谷加奈子さん

発掘と  
発信

### 南大阪・上町台地フォーラム 住吉大社と大和川・堺

3月8日/住吉大社(大阪市住吉区)

平成28年度の第3回は、住吉大社・小出英詞権禰宜の案内で、同社の境内でフィールドワークを実施しました。その後は講義会場に移り、宝永元(1704)年の付け替えで大和川が住吉と堺を横断・西流したことにより、住吉大社の祭礼・神輿の道筋がどう変わっていったのか、土砂の堆積による海岸線の後退、新田開発などについて、小出権禰宜から話を伺いました。参加者は古地図、古文書、屏風絵を使った分かりやすい説明に、かつては地続きで同じ町であった住吉と堺の変遷に思いを巡らせました。



小出英詞権禰宜



参加者と一緒に

伝統と  
創造

### 住吉大社御田植神事 (国指定重要無形民俗文化財) 1800年の歴史をもつ華やかな神事

6月14日/住吉大社(大阪市住吉区)

住吉大社の神事のなかで、ひととき華やかな御田植神事が行われ、御田植や舞など総勢約400人が奉仕しました。

この神事は、今から1800年前、神功皇后が五穀豊穡を祈るため住吉大社に神田を設け、長門国(現在の山口県)から植女を召して御田植奉仕をさせたのがはじまり。明治時代に入って中断しましたが、大阪新町廓の芸妓が植女となって神事廃絶の危機を救いました。その後、大阪花街連盟の芸妓が支えてきましたが、現在は関西・大阪21世紀協会(上方文化芸能運営委員会)などが、大阪の伝統的な神事芸能として支援しています。

この日、御田では約4,000人が参列するなか、御稔女(みとしめ)による神田代舞(みとしろまい)や無形文化財の住吉踊りなどが奉納されました。



神田代舞を奉納する  
御稔女の安田睦美さん



御田植風景

告知

### 西宮会場でも27講座を実施 ▶8月26日(土)～27日(日)/西宮市民会館 ワークショップフェスティバル・DOORS 11th

夏恒例のDOORS(7月29～8月2・6日)に、今年は西宮会場が加わりました。8月26日～27日の2日間で27の入門講座をラインナップ。子どもから大人まで、「一度やってみたかった」を実現するチャンスです。

講座例(8月26日)「美しく舞う能の謡と仕舞入門編」「色々な革で作る動物のキーホルダー」「タカラヅカ男役入門」「新しい本遊び・直観読みブックメーカー」「和楽器・小鼓入門編」「大人の塗り絵体験教室」「オリーブオイルで世界旅行」「フルーツ体験&アンサンブル」「ペーパークラフトでみんなの街を作ろう」「血廻しでヒーローになろう」「50歳からのマジック入門」「パントマイムでいっしょに遊ぼう」「狂言体験～600年前の笑いの世界」「自分らしい声をみつけよう」

会場: 西宮市民会館(阪神西宮駅「市役所口」改札北へ徒歩1分)

参加費: 1講座(90分)500円 ※参加には事前のお申し込みが必要です(先着順)

お問い合わせ: 西宮ドアーズ実行委員会事務局 ☎0798-39-1723(10:00-19:00)

主催: IWF実行委員会(関西・大阪21世紀協会、アートサポート共同事業体)

ホームページからも  
申し込みができます。  
<http://www.iwf.jp>